

ELPA
ESL-101SL(BK)

**取扱説明書
保証書付**

ソーラー発電式

LED センサーライト

1W高輝度白色LED×1灯



お客様へのお願い

- この度は弊社商品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。ご使用の前に必ずお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書欄は、「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ずお確かめください。

ご使用の前に!

必ず初期充電をおこなってください

本機内蔵の充電池は製造時に十分充電しておりますが、充電池の特性上自然放電しますので、商品お買い上げ時には放電している場合があります。

ご購入後は必ず晴天の日に2日間以上充電してから使用開始してください。

※充電はON/OFF切替ツマミをOFFの位置（ライトが点灯しない状態）にしておこなってください。

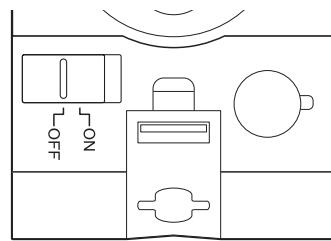
①ソーラーパネル接続コードのプラグをセンサーライト下部のプラグ差込口に接続します。

②センサーライト下部にある、ON/OFF切替ツマミをOFFにします。

※ライトが点灯しない状態で充電します。

③ソーラーパネルを直射日光が長い時間当たる場所を選び仮設置し、2日間以上充電してください。

※季節、日照時間、天候、地域により異なります。



充電は動作しない状態でおこないます

1 安全に関するご注意

⚠ 警告

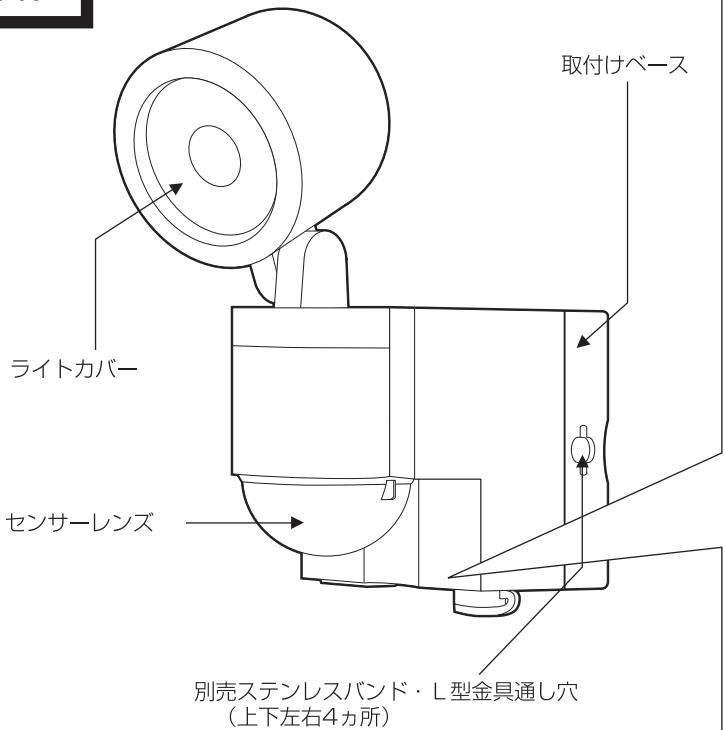
- 取り付けは、この取扱説明書に従って確実におこなってください。
- 本機は防水構造ですので通常の雨や風には耐えますが、防水タイプではありませんので大量の水がかかる場所や湿気の多い浴室などでは使用しないでください。
- 正面から見て本体が地面に対して斜めになつたり逆さまになるような取り付けをしないでください。検知機能に異常をきたしたり、雨水が入り故障や漏電の原因となります。また本体及びソーラーパネルは、万一落下しても事故の起こらない場所に取り付けてください。
- 本体とソーラーパネルを結ぶ接続コードの上には物を置かないでください。またステップルの打ち込みもしないでください。
- 感電の恐れがありますので、充電池を交換される際は濡れた手で本体に触れないでください。また本体が雨などで濡れている場合も触れないでください。（充電池の交換は必ず本体のスイッチをOFFにしてからおこなってください。）
- 視力を損なう恐れがあるので点灯中のライトを直視しないでください。
- 改造したり分解しないでください。また指定用途以外での使用や、指定以外の取り付け部品を使用しないでください。

⚠ 注意

- 本品は人を検知しライトを点灯させる機能を持っていますが、侵入・盗難を確実に阻止する商品ではありません。発生した損害につきましては責任を負いかねますので予めご了承ください。
- 充電池は必ず指定のものをご使用ください。
- ソーラーパネルが極端に汚れると充電能力が低下する事があります。定期的に点検、清掃をおこなってください。
- 曇りの日が続いた場合は、再度初期充電が必要になる事があります。センサーライトの本体はなるべく手の届くところへ設置してください。
- 極度の低温下では充電池の充電能力が低下する場合があります。
- LEDの交換はできません。
- 電動シャッター等の電波を利用する機器の近くには取り付けないでください。
※本機や電波機器の動作に支障をきたす事があります。
- 温度の高くなるもの（ガス機器やその排気口など）の上に取り付けないでください。
- お手入れの際は、柔らかい布で乾拭きするか、薄めた中性洗剤を布に含ませ固く絞ってから拭いてください。ベンジンやアルコール、シンナーを使用すると変色、変形、ひび割れする恐れがあるので避けてください。
- 商品の特性上、明るさや光の色にバラつきが出る場合がありますのでご了承ください。
- 仕様及び外観、外装は予告なしに変更する事がありますのでご了承ください。
- 万一、当社の製造上の原因による品質不良、不具合が発生した場合は新しい商品とお取替え致します。
それ以外の責はご容赦ください。

2 各部の名称と付属品

本体

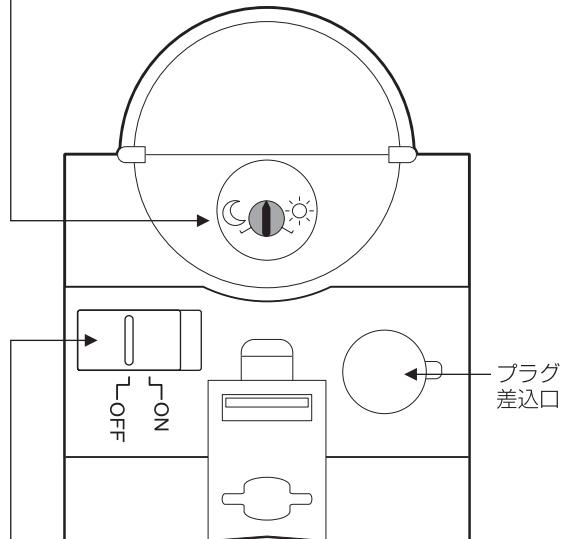


各部調整ツマミ

※本体を下から見た図

点灯開始照度調整ツマミ

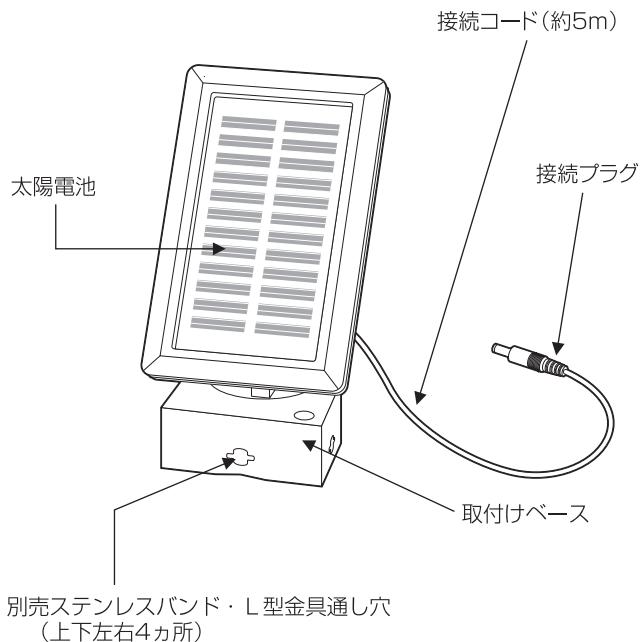
周囲が明るいときにも検知～周囲が暗いときだけ検知させるようにセンサーを調整できます。



ON/OFF切替ツマミ

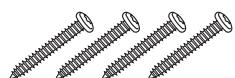
ON/OFFの切替ができます。
充電のみおこなう場合はツマミをOFFの位置にしてください。

ソーラーパネル



付属品

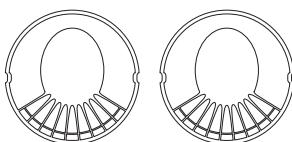
●取付ネジ(4本)



●コンクリート用スリーブ(4本)



●マスキングカバー(2個)



3 ソーラーパネルの取り付け

本体およびソーラーパネルを取り付ける前に、充電池への初期充電を必ずおこなってください。

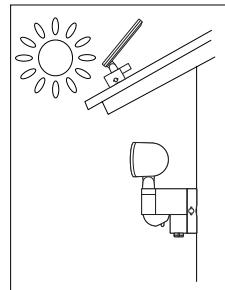
ソーラーパネルの取り付け場所

△ 万一落下しても事故の起こらない場所に取り付けてください。

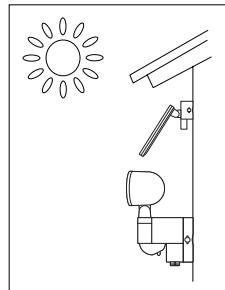
**ソーラーパネルは太陽光で発電します。
発電効率が良い、最適な場所に取り付けてください。**

- 直射日光が長い時間当たる南向きの壁面や屋根の上
- 樹木やビルの陰にならないところ
- ソーラーパネルは地平線に対して上方向約45°の角度

屋根の上に取り付け



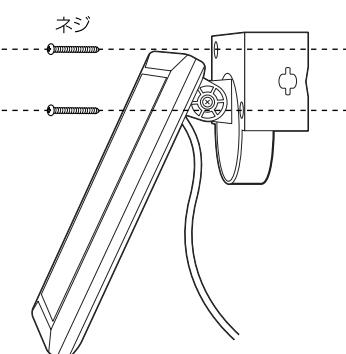
壁面に取り付け



取り付け方法

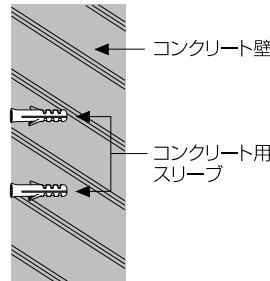
ネジで取り付け

木製の壁等に取り付ける場合は、付属の取付ネジ(2本)で取り付けてください。

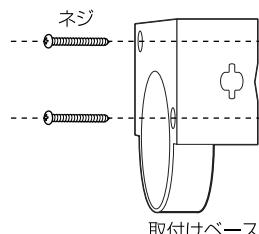


コンクリート壁への取り付け

- ①コンクリートの取付ネジ位置にドリルで直径6mm、深さ30mmの穴を開けます。そこへ付属のコンクリート用スリーブを差し込み壁と表面を合わせます。



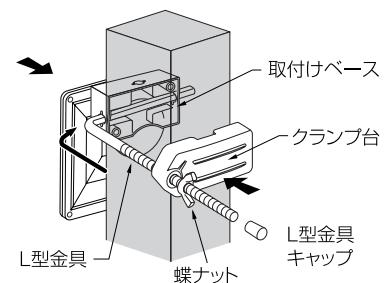
- ②コンクリート用スリーブに合わせて付属の取付ネジで取付ベースを固定します。



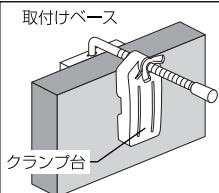
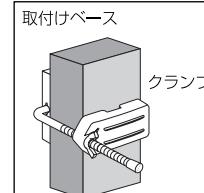
別売クランプによる取り付け (弊社型番ESL-CS)

最小約10mmから最大約100mm幅まで取り付け可能

- ①取付けベースのL型金具通し穴にL型金具を差込みます。
- ②L型金具にクランプ台を通し蝶ナットで締め付けます。
- ③L型金具の余った部分に付属のL型金具キャップをかぶせてください。



■クランプによる取り付け例

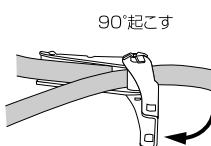
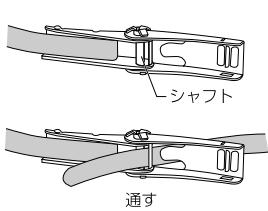
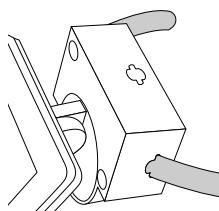


横からの取り付け

上からの取り付け

別売ステンレスバンドによる取り付け (弊社型番ESL-SB)

(直径約260mmまで取り付け可能)

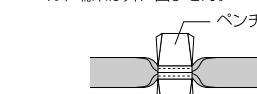


△ステンレスバンドの構造上、一度締め付けるとゆるめる事はできません。

※ケガをする恐れがありますので作業用手袋を必ず着用してください。



- ④仮止めができたら、バンドの余長をシャフトから3cm程度のところに切断します。ベルト端末は外に出ません。



- ⑤ハンドルを反復回転させる(ラチェット機構なのでバンドを巻取る)とベルトはゆるむことなく十分に締まります。



- ①取付けベースのステンレスバンド通し穴(上下または左右の2箇所)にステンレスバンドを通して下さい。

- ②バンドを取付箇所(ポールなど)に巻付け、先端をシャフトの間(シャフトは2枚構成)に通して、バンドにたるみのない程度に張ります。

- ③バンドを適当地張り、ハンドルを90度起こして仮止めします。

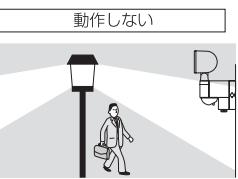
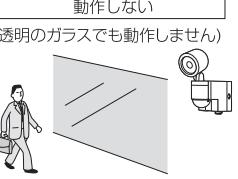
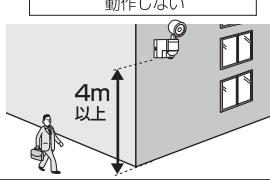
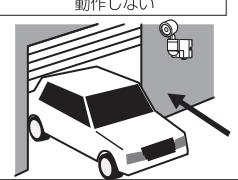
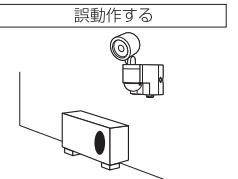
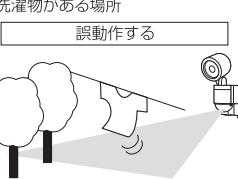
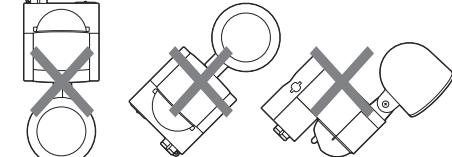
※図のようにベンチでバンドを2つ折りにして、左右に振ると、切断しやすくなります。

- ⑥バンドが十分に締まったところでハンドルをベースに重なるまで倒して、ストッパーにかしめ込んで完了です。

4 センサーライト本体の取り付け

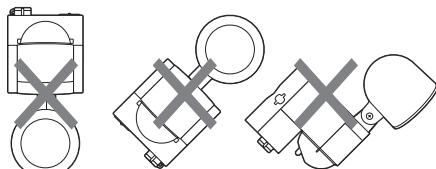
△ 取り付け上のご注意

次のような場所に取り付けた場合、誤動作や動作しないことがあります。

◆夜間でも明るい街路灯などの近辺 	◆手前に障害物があるところ 	◆狭い場所でセンサーに向かって直進した場合 
◆取り付け高さが4m以上のところ 	◆検知エリアの中でゆっくり動いたとき 	◆電波の強いところ 
◆道路に面した場所 	◆エアコンの吹き出し口の近辺 	◆検知エリア内に、風で揺れる植栽や洗濯物がある場所 
◆本体を傾けて取り付けないでください 		

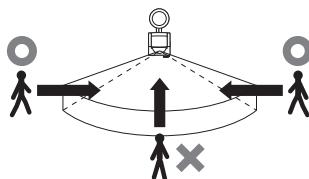
本体を傾けて取り付けないでください

本体が地面に対して逆さまや、斜めや横になるような取り付けはしないでください。検知機能に支障をきたしたり、内部に雨水が入り故障や漏電の原因になります。



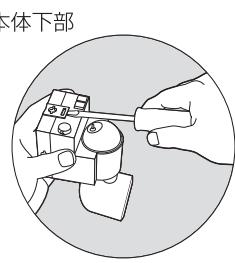
センサーレンズを横に見て通るような位置に取り付けてください

本体に対して直進すると検知しにくいため、近くまで接近しないと点灯しないことがあります。

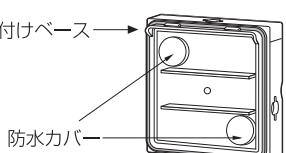


ネジで取り付け

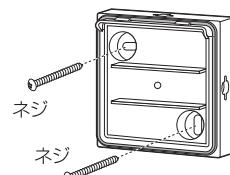
- ①本体から取付けベースを外します。
※下図のようにマイナスドライバー等を差し込んで外してください。



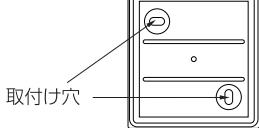
- ②防水カバーを取り外します。



- ③取付けベースを付属のネジで壁に固定し、防水カバーを再び取り付けます。

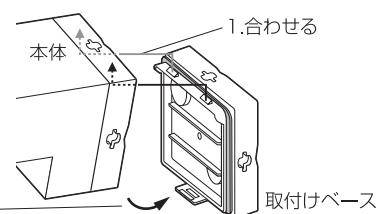


防水カバーを取り外した場所に取付け穴があります。



※取付け穴は薄い樹脂でふさがれています。
ドライバー等で強く押すと穴が開きます。

- ④先に本体上部の内側にある凹部を取付けベースの凸部に合わせ、次に下部をはめ込み固定します。



コンクリート壁への取り付け

別売クランプでの取り付け

別売ステンレスバンドによる取り付け

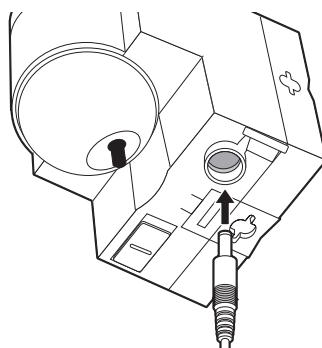
「③ソーラーパネルの取り付け」と同様に取り付けてください。

5 コードの接続

ソーラーパネル接続コードのプラグを、センサーライト本体下部のプラグ差込口へしっかりと奥まで差し込みます。

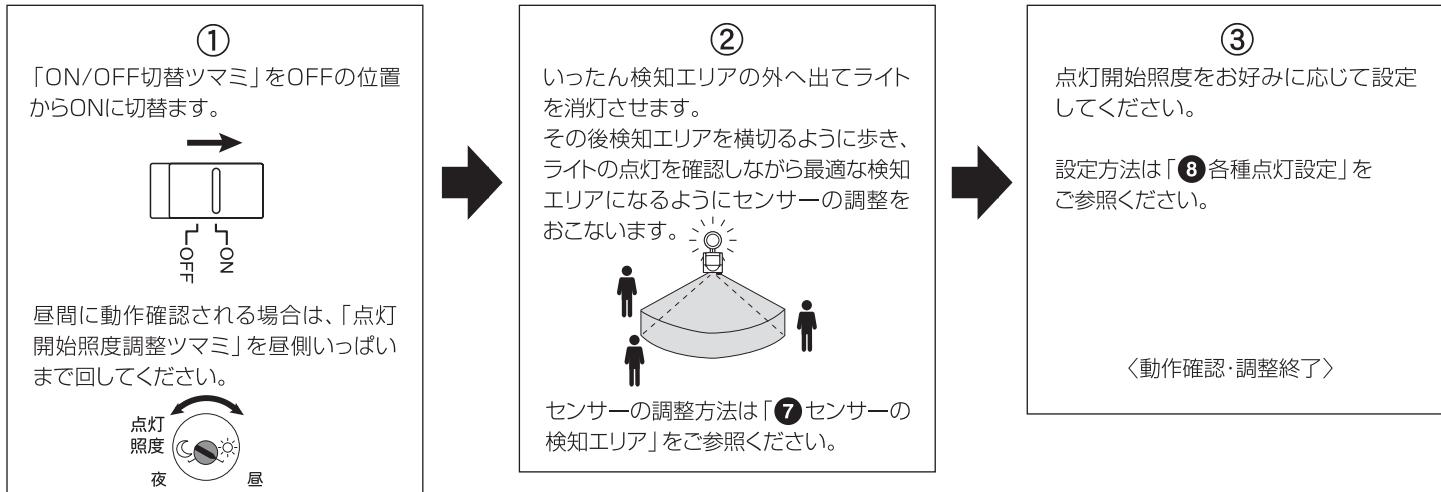
(右図参照)

※プラグ差込口のゴムキャップを
予め開けてください。



6 動作確認

取り付け終了後、次の要領で動作確認をおこなってください。

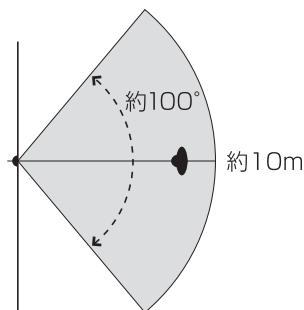


7 センサーの検知エリア

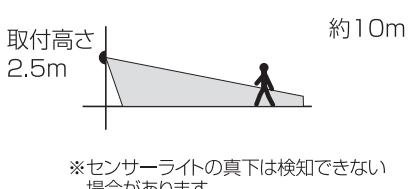
検知エリアについて

- 検知エリアは目安です。気温、服装、移動速度、侵入方向、体温、器具の取り付け高さなどにより大幅に変化します。
- センサーは検知エリア内の温度変化を検知するため、人以外の熱源（動物・車など）が移動した際も検知します。
- 検知エリアの外側でも人より大きな熱源（車など）が移動した場合は検知する事があります。
- センサーに向かって正面方向から接近した場合は、検知距離が極端に短くなります。

【平面図】 検知エリアを上から見た図



【側面図】 検知エリアを横から見た図



※センサーライトの真下は検知できない場合があります。

センサーレンズ可動範囲



左右各約60°

※故障の原因となりますので
60°以上回さないでください。

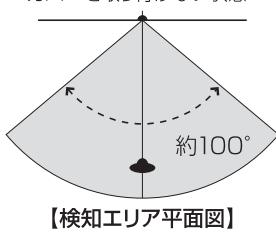
マスキングカバーの使用方法（検知エリアの調節）

- センサーの検知エリアを狭くしたい時はマスキングカバーを取り付けて調節します。
※マスキングカバーは予備を含めて2個付属しております。

マスキングカバーを取り付けると、カバーで覆われた部分はセンサーが検知しなくなります。
センサーで検知させたい部分だけをニッパー等を使って切り取ります。

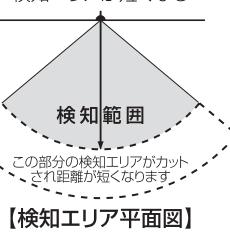
<例1>距離を短くする

カバーを取り付けない状態



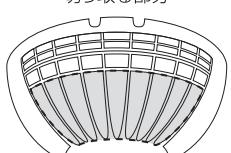
【検知エリア平面図】

検知エリアが短くなる



【検知エリア平面図】

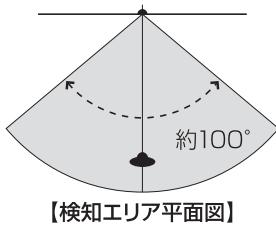
切り取る部分



マスキングカバーの
下面を切り取ります。

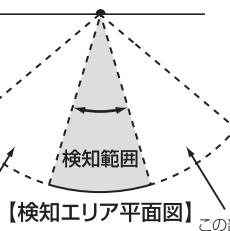
<例2>角度を狭くする

カバーを取り付けない状態



【検知エリア平面図】

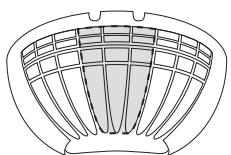
検知エリアが狭くなる



この部分の
検知エリアがカットされ
角度が狭くなります

【検知エリア平面図】

切り取る部分



マスキングカバーの中央
部分を切り取ります。

8 各種点灯設定

点灯開始照度の設定



昼間など周囲が明るいときは検知エリアに入りても点灯しないように設定できます。
点灯開始照度設定ツマミを左右に回して設定します。

夜だけ点灯

周囲が暗くなつてから点灯させたいときは左にまわして設定します。

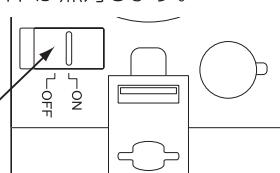


昼も夜も点灯

周囲の明るさに関係なく点灯させたいときは右にまわして設定します。

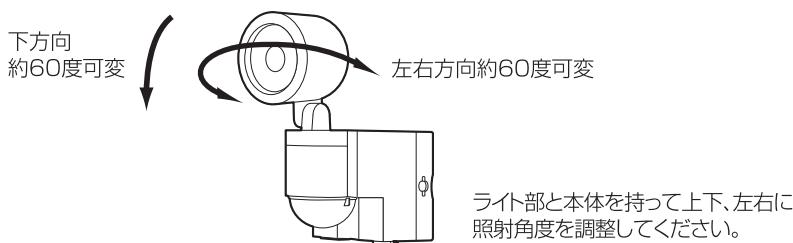
点灯ON/OFFの設定

ON/OFF切替ツマミをONの位置に切替えるとライトが点灯します。



ON/OFF
切替ツマミ

9 ライト部(ライトカバー)の角度調整



10 故障かなと思ったら

現象	考えられる原因	処置
ライトが点灯しない	スイッチがOFFになっている 充電池の充電不足 ソーラーパネルからの接続コードが抜けている 設定された点灯開始照度よりも周囲が明るい 検知エリアの設定が適切でない センサー部に向かって直進している 寒いときや雨降りの時で人がマフラーや傘などで覆われている 夏場など周囲の温度と人体の温度が近くなり、温度差が無い 非常にゆっくりとした速度で検知エリアに侵入した 検知エリアが遮られている	ON/OFF切替ツマミをOFF以外の位置へ切替えてください 初期充電(※)をおこなってください 接続コードのプラグをしっかりと奥まで差し込んでください 点灯開始照度を「昼も夜も点灯」側に調整してください 取り付け場所を変更するか、検知エリアの調整をやり直してください センサーは人の動きによる温度変化を検知するため左記の場合などは検知しにくくなることがあります センサーの前に壁やガラスがあると、人の動きを検知できません 検知範囲の調整、もしくは取り付け場所の変更をしてください
ライトが点灯したまま消えない	検知エリア内、または周囲に次の誤動作をする要因がある (例)他の照明器具、植木、洗濯物、犬や猫、エアコンの吹き出し口、ガス給湯器、強い無線ノイズ 検知エリアが道路にかかっており、通行する自動車や人に反応している	誤動作要因となっているものを検知エリア内から取り除くか、再度検知エリアの調整をしてください
点灯回数が少なくなった	曇り・雨・雪といった天候が続き、充電池の充電が不足している 充電池の寿命	初期充電(※)をおこなってください 新しい充電池に交換してください

(※)初期充電については前項「ご使用の前に!」をご参照ください。

11 仕様

センサーライト本体

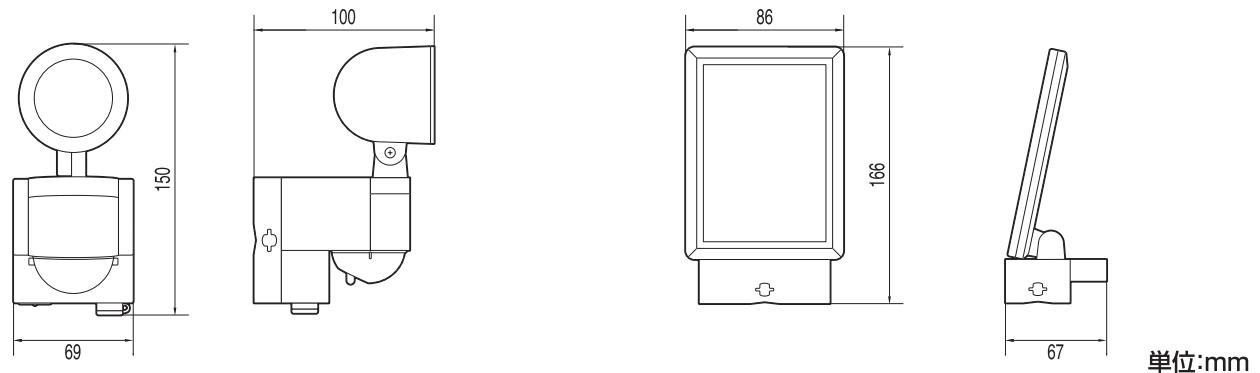
名 称	ソーラー LEDセンサーライト(1灯)
品 番	ESL-101SL(BK)
検 知 方 式	赤外線受動式
使 用 電 源	ニッケル水素充電池 3.6V 750mAh
光 源	1W高輝度白色LED
点灯保持時間	約10秒(固定)
耐 水 性	IPX4(防沫型)
使 用 周 囲 温 度 范 囲	-20°C~45°C
重 量	約188g(充電池含む)
付 属 品	コンクリート用スリーブ4本、取付ネジ4本、マスキングカバー2個

ソーラーパネル

種類	シリコン多結晶
出力	6V 90mA
接続コード長	約5m
耐水性	IPX4(防沫型)
使用周囲温度	-20°C~45°C
重量	約190g

◆仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。

12 外形寸法図



13 内蔵充電池の交換について

本機に内蔵されているニッケル水素充電池は、使用条件にもよりますが約2年で寿命となります。ライトの光量が極端に落ちたり、正常に充電しているのに点灯回数が少なくなった場合は指定の充電池とお取替えください。

■品名 :コードレス電話用充電池
(3.6V 750mAh)

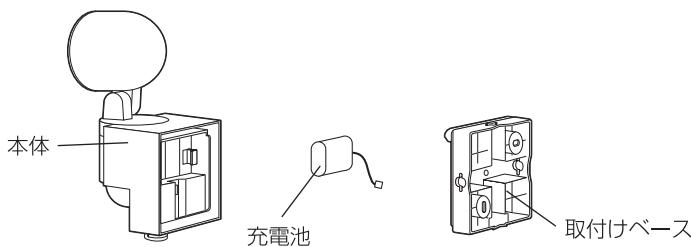
■品番 :THB-121

●お求めは本品お買い上げの販売店までお問い合わせください。

充電池の交換方法

- ①「ON/OFF切替ツマミ」をOFFにしてください。
- ②ソーラーパネル接続コードのプラグを本体から引き抜いてください。
- ③本体から取付けベースを外します。

- ④充電池を取り出し、コネクターを引き抜きます。
- ⑤新しい充電池のコネクターを接続します。
- ⑥コードをはさみ込まないように注意しながら逆の手順で元通りに戻します。



お願い

ご使用済みの充電池は貴重な資源です。
再利用しますので廃棄せずに充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

